

家庭教育だより No.47 はぐくみ

家庭内のコミュニケーションなどによって育まれる家族の絆や家庭のルールづくり、子どもたちの基本的な生活習慣づくりを考えませんか。

問合 学校教育課 ☎32-8028 FAX 34-4379



教育の担い手は、学校と家庭と地域 ～みよし教育プラン2035がスタート～



令和8年4月から第2期みよし市教育振興基本計画「みよし教育プラン2035」がスタートし、本市の教育はこれから10年間この計画に沿って進められます。今回は、この計画を紹介します。

どんなプランなの？

21世紀を心豊かにたくましく生き抜き、市民みんなが幸せを感じられる本市の教育を推進する ホームページ ために、目指す人間像を「生涯にわたって自らを磨き、みんなとともに、心豊かな人生、時代、みよしを創る人」に、基本理念を「ともに学び・育ち・つながり・創る 未来のみよし」としました。詳細は、ホームページをご覧ください。



合言葉は「ともいっ きょういっ共育・協育」

本市の教育の合言葉の1つに「共育・協育」があります。この考えは、教育プラン2035にもたびたび登場します。共育とは教える側と学ぶ側、親と子、地域と学校など、全

ての教育に関わる人が共に学び、共に成長すること。協育とは、家庭・地域・学校が手を取り合って、子どもや若者を協力して育てること。この共育・協育に関するさまざまな取り組みを行ってきました。新計画のスタートに当たり令和8年度は、みんなで取り組む「みんな幸せ ともいっくチャレンジ(ともチャレ)」を実施します。

みんな幸せ ともいっくチャレンジ

「ともチャレ」では毎月チャレンジする内容を決め、市民に取り組んでもらい実施状況を公開していきます。毎月の取り組み内容・方法は、本市の公式LINEやきずなネットでお知らせします。

4月のともチャレは「おは・おや」チャレンジ。
気持ちの良い「おはよう」と「おやすみなさい」がどの家庭でも飛び交うみよしを、みんなでつくっていきましょう。

ますおか増岡教育長からのメッセージ

子どもたちが存分に成長するためには、まず「自分は受け入れられているんだ」「困ったときは頼っていいんだ」という、親や身近な大人との関係が保障されることが重要だと言われています。脳科学や心理学では乳幼児期に心の土台を作り上げておくことで、小・中・高以降の学びが積み重なっていくと言われています。朝起きた時に「おはよう」と言い合ったり、一緒にご飯を食べたりすることは、心の土台作りの第一歩。これを誕生から思春期まで続けられることは、とても素晴らしいことです。みんなで「ともチャレ」に挑戦することで、子どもたちが伸びられだけ伸びるみよしを創っていけたら素敵ですよ。



編集後記

今回はインターンシップで広報課に来てくれた大学生の感想をお届けします。

▶ 3日間のインターンシップでは、写真の撮影・編集や取材を通して市民と接し、広報の視点からみよしについて知る貴重な体験をさせていただきました。記事の編集や一眼レフの操作まで丁寧に教えていただいた他、業務内容や職場の雰囲気を学ぶことができ充実した時間になりました。(加)

